

シクロクロスシーズン

【シクロクロスレッスン in 秋ヶ瀬公園】

10月12-13日 共催：(公財) 埼玉県公園緑地協会

全日本9連覇の辻浦圭一氏と現役エリートの鈴木来人選手が講師をつとめるレッスンを開催しました。開催地は秋ヶ瀬公園内の「こどもの森広場」とその周辺を使用し、草地、グラベル、アスファルト、と多彩な環境を利用して、普段経験するのが難しいシクロクロスを想定しながらの集団走行を繰り返し体験することで、受講生の皆さんはシーズン直前のスキルアップに活かされたことと思います。

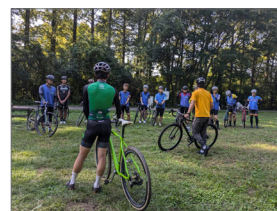
昨年も開催した(Vol.66 参照) 秋ヶ瀬公園でのシクロクロスレッスンはこれからも毎年レースシーズン直前での恒例行事として取り組んで行く予定です。



▲平面林に隣接する恵まれた環境の秋ヶ瀬公園「こどもの森」



▲辻浦講師を先頭に次第に隊列が整っていく



▲走行の都度ブリーフィングを行い課題を伝えて取り組んでいきます



▲密な集団ではペダリングを止めず前者との間隔を詰めるよう指導



▲コース上には木の根を超えるシーンなどもあり脱重を意識することなどを練習



▲特にコーナーでの走行ではハンドルで曲がろうとしないことを意識づけ



◀ルーマニア籍のUCIチーム「Vini Monzon Savini Due OMZ」に所属するロードの「鳴海 颯」選手も昨年に続き受講生として参加し、一昨年から日本で始めたシクロクロスによってロードでの落車が減るなどスキルアップに繋がることがわかったと、リアルな体験談を披露してくれました



▲講師をつとめた辻浦圭一氏(左)と鈴木来人選手(右)



▲同時に OnebyESU・SOMA・RITCHEY の試乗車全9モデル19台を用意し多くの皆様に乗り比べなど楽しんでいただけたと思います。



▲12日のみサンエスペース羽根倉通りKURU店内で「東京サンエオリジナルフレームの変遷」と題してトークイベントを開催しました。この模様は追ってYouTubeで公開予定です。

【OnebyESU に乗るシクロクロス選手たち】

鈴木来人 OnebyESU-ICV

昨季は世界選手権 U23 で日本人ベストをマークした鈴木来人選手。今季からエリートでポディウムを狙う。JFF#807z & OBS-CBD1.25TH ジェイカーボンマホラなどを使用。



©Miki Omori

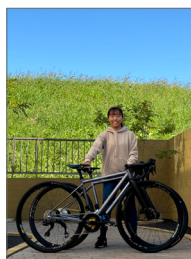


©Miki Omori

大蔵こころ 早稲田大学

トラック・ロードと活躍する大蔵こころ選手も昨季に続いてシクロクロスの頂点を目指します。

JFF#807z & OBS-CBD1.25TH ジェイカーボンマホラなどを使用。



© ゼムネノソタワ

その他マスターズ連覇中のイワイレーシングチーム「村田憲治」選手(JFF#807z & OBS-CBD1.25TH 使用) など多くのライダーが OnebyESU シクロクロスで戦っています。



秋ヶ瀬の森 バイクロア 14 (2024.12.7-8)

今年も秋ヶ瀬公園で開催されるバイクロアに、サンエスペース羽根倉通りの「KURU」と「OnebyESU」が協力する「SWEET(7日) or BITTER GRAVEL ARAKAWA」(8日)ふたつのグラベルライドツアーが行われます。街近く…されど見慣れぬ姿の荒ぶる大河、荒川河川敷を舞台に、極上グラベルルートに冒険します。SWEETはファミリー参加可能なKURU立ち寄り含むコース。BITTERは本格的な未舗装路を堪能する50kmコース。バイクロア会場では東京サンエもブース出展します。

